

※ 「評価」欄の評価基準

A：計画どおりに進んでいる。 B：概ね計画どおり進んでいる。  
C：計画よりやや遅れている。 D：計画より大幅に遅れている。

基本理念	基本目標	基本方針	No.	実施事業	担当課	事業内容	取り組み・成果	課題等	評価	今後の方向性	
ともに支え合い 子どもの笑顔あふれる香美市	1. 子どもの教育・保育事業の充実										
	(2) 多様なニーズに合わせた環境の整備										
			16	子育て短期支援事業 <地域子ども・子育て支援事業>	福祉事務所 (社会福祉班)	市内1か所(博愛園)で実施しており、見込み量に対する提供体制は整っています。制度の広報を行いながら、必要な時に利用できるよう実施します。  <b>目標</b>  ・ホームページや香美市子育てガイドを活用し、事業周知を行っていますが、いまだ認知度が低いように思われるので、なお一層のPRを図ります。	<del>利用の実施には至っていません。</del>  広報誌、ホームページによる事業周知を行いました。1件5日の利用があり、入院等でショートステイの利用が必要な場合は、病院や家庭児童相談員等から窓口につながっています。	<del>十分な制度の広報ができていません。</del>  児童が発達障害などの特性を持っている場合は、すでに入所している児童との兼ね合いから、受け入れが難しい場合があります。	D  B	<del>制度の周知を図るため、市の広報へ記事を掲載します。</del>  引き続き、市の広報へ記事を掲載するなど、制度の周知を図りながら、代替えのサービスの把握に努めます。	
	3. みんなが支え合い、子育てしたくなるまちの推進										
(3) 学校・家庭・地域での連携教育の推進											
			49	家庭教育の強化	教育振興課 (学校教育班)	①各校において保護者の参加による、防犯・食育・家庭学習について等の研修を行います。 ②コミュニティスクールを導入し、地域とともに家庭教育を支える仕組みをつくります。  <b>目標</b>  ・①について、各校におけるPTA 研修等で、防犯・食育・家庭学習の研修を行います。 ・②について、コミュニティスクールを導入します。(平成28年度：片地小、平成29年度：大栃小中、平成31年度までにさらに増加)	①総合的な学習や学校行事等を活用しての研修実施。防災に関する授業は5回以上、避難訓練は3回以上、全小中学校で実施。 ②片地小学校と大栃保・小・中学校が、学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールをスタートさせた。その会の中で、大栃では、「物部で育てたい力」についてそれぞれ(学校・家庭・地域)ができる取り組みについて協議をし、系統表を作成しました。	①期日・内容等、保護者や地域が参加しやすい研修を設定。 ②コミュニティ・スクールと地域学校協働本部との両輪についてどのように進めていくかが今後の課題です。	B  A	①コミュニティ・スクールを活用した学びの場を設定します。 ②平成30年度は、8校が学校運営協議会を設置。平成31年度には、市内全部の小中学校が学校運営協議会を設置予定です。	